

## ■ 開塾式 ■

初日は開塾式からスタートです。今年  
は昨年を超える 19 名が集まって第三土  
曜日を盛り上げる事業を考えます。起業  
塾も 2 回目ということもあり、去年参加  
した子もいましたが、やはり最初は緊張  
感からか、みんな少し硬い雰囲気です。



子ども達の自己紹介に続いて、熊谷市長からのビデオメッセージ、  
藤川先生、西千葉を中心に活動している起業家の吉川さん、千葉大  
学経済人倶楽部「絆」の方々、千葉大学齋藤学長といった関係者の  
挨拶。齋藤学長は、全員を激励しながら名刺交換をしました。



なかなか緊張が解けない子ども達に、なぞなぞでアイスブレイク。近くの席の子ども達  
でチームを作って、みんなで考えているうちに、さっきまでの緊張感はなくなって、和や  
か雰囲気になりました。

その後、みんなでこれからの流れや、ルールの確認をしました。

## ■ フィールドワーク ■ (商店街、フクロウ広場を見よう)

事業を考えるためには現場を知らなければ  
いけない。ということで、第三土曜市の舞  
台となるフクロウ広場や、関係者がたくさん  
いるゆりの木商店街をみんなで視察に行き  
ました。

商店街では、お店の人から第三土曜市に期  
待することや問題点、こうだったらいいなと  
思うことを聞きました。



また、フクロウ広場では、第三土曜市を  
開催している吉川さんや海保さんから第三土  
曜市についてや、ゆりの木商店街で使われて  
いる地域通貨「ピーナッツ」、ピーナッツを使  
うときは握手をして「アミーゴ!」と挨拶を  
すること等を教わりました。

## ■ やりたいことを考えよう ■

第三土曜市の舞台となるゆりの木商店街、フクロウ広場のフィールドワークを終えたら、いよいよ事業を考えます。最初は一人一人が、マインドマップを使ってフィールドワークの中で感じたゆりの木商店街、フクロウ広場、第三土曜市の問題点と課題点を挙げ、その解決方法を事業の形で考えました。中にはなかなかアイデアが出てこない子どももいましたが、起業家の方々や昨年参加した中学生のOBアドバイザーからのアドバイスで、全員が午前中のうちにそれぞれの意見をまとめることができました。



## ■ グループ分け ■

午後はそれぞれが考えた事業をもとにグループ分けからスタート。今回のグループは

- ① 人を集めるグループ
- ② 広場をきれいにしたり、華やかに飾り付けをしたいグループ
- ③ お客さんに涼しく過ごしてほしいグループ
- ④ イベントで第三土曜市を盛り上げたいグループ

の4つに分かれました。

それぞれのグループに分かれたら、自己紹介&役職者（社長、経理）を決めます。経理は昨年度、収支計算があいまいになってしまった反省から、今回から導入しました。ちなみにここから、各班に社会人、大学生、千葉市インターン生が各1名ずつ入って、一緒に事業を考えます。

役職者を決めたら、事業を考える上でのポイントと注意点、昨年の会社が行った事業、人件費について昨年の塾長の関谷さんから、また、融資の仕組みと銀行の役割について千葉銀行の行員の方から、説明を受けました。



## ■ 会社の事業を決めよう ■

会社としての第一歩は、会社の名前と事業を決めること。やりたいことでグループ分けはしましたが、みんなそれぞれ少しずつ違っているので、その擦り合わせをして、会社として何を事業とするかを決めました。事業のアイデアが出たら書類にまとめて、別室にいる吉川さんと契約に向かいます。会社でやりたい事業が、第三土曜市の役に立つかどうかを吉川さんが判断して契約を行う仕組みで、今回の起業塾の最大の特徴「B to B」の形になっています。



各社、いろいろなアイデアを考えますが、第三土曜市をより良いものにしたいという思いや、費用対効果の面から、なかなか吉川さんとの契約には至りません。会社内、会社付きの社会人や学生、吉川さんとも話し合いを重ねて、アイデアをより具体的にブラッシュアップしていきます。

初日に契約まで至る会社はいませんでしたが、各社それぞれ行う事業の形は見えてきたようです。

一日の最後は各社の事業の進み具合を報告して終わりです。

- ① 人を集めるグループ  
→会社名 ベアーズ  
事業 スタンプラリーと景品のサービス
- ② 広場をきれいにしたり、華やかに飾り付けをしたいグループ  
→会社名 フラワーリラックス  
事業 短冊に「ねがいごと」を書いてもらって、商店街で飾り付ける
- ③ お客さんに涼しく過ごしてほしいグループ  
→会社名 ウォータークール  
事業 水で濡らしたタオルを来場者に配り、涼んでもらう。
- ④ イベントで第三土曜市を盛り上げたいグループ  
→会社名 西千葉ファミリー写真館  
事業 来場者にアミーゴポーズ（握手）で写真を撮り、飾る。